

\*\*\* 第11回 UNHCR 難民映画祭 上映作品 \*\*\*

笑顔を奪われた  
少年、少女らは今なにを思うか—



# ストーム・ストーリーズ ～戦禍を逃れた子どもたち

特別上映会

日時:10月29日(土) 12:30 開場 13:00 開演  
会場:明星大学  
日野キャンパス 28号館 112号室  
料金:無料  
運営:映像翻訳フィールドワーク



明星大学  
MEISEI UNIVERSITY



JVTA®  
日本映像翻訳アカデミー®



## 『ストーム・ストーリーズ ～戦禍を逃れた子どもたち』のあらすじ

紛争により避難を余儀なくされ、オーストラリアにたどり着いたイラクやシリア、イラン、アフガニスタン、セルビアの子どもたちが通う学校。そこでは子どもたちの傷ついた心を癒すために「ツリー・オブ・ライフ（生命の樹）」というプログラムが実施されています。自らの凄惨な体験、「ストーム・ストーリーズ」を共有し、それを基に1本の脚本を紡ぎ出し、子どもたち自身が舞台上で演じるのです。子どもたちは自分たちの過去を物語として自ら演じることで過去と向き合います。熱意溢れる教師やスタッフと共に、少年少女らは悪夢を乗り越え、新しい人生を歩み始めます。（デヴィッド・メイソン監督/ドキュメンタリー/オーストラリア/2016年/72分）



## UNHCR 難民映画祭とは？

この上映会は、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の後援により、第11回 UNHCR 難民映画祭上映作品を明星大学で特別上映するものです。UNHCR 難民映画祭は、難民や国内避難民、無国籍者の問題に対する啓発を目的に、毎年、世界中から集められた難民問題をテーマにしたドラマやドキュメンタリー映画を上映しています。

## 映像翻訳フィールドワークについて

明星大学 国際コミュニケーション学科の「映像翻訳フィールドワーク」は、映画やテレビ番組における映像翻訳の手法を学び、自分たちの手で映像作品に字幕を施すこと、また、翻訳した作品を観客に鑑賞してもらうための上映会を開催することを目的としています。上映作品『ストーム・ストーリーズ ～戦禍を逃れた子どもたち』の字幕は、現役の映像翻訳者・映像翻訳ディレクターでもある講師陣の指導のもと、映像翻訳フィールドワークの学生全員で分担して作成しました。



## [特別上映会開催概要]

お問い合わせ先（岩佐）：[eizouhonyaku-fw@jvtacademy.com](mailto:eizouhonyaku-fw@jvtacademy.com)

日時：2016年10月29日(土) 開場 12:30 開演 13:00 終了予定 16:00

（明星大学 国際コミュニケーション学科 毛利聡子教授によるトークショーを開催）

会場：明星大学 日野キャンパス 28号館 112教室

（多摩モルルール「中央大学・明星大学駅」直結）※ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。

料金：無料(事前予約等不要。直接会場へお越し下さい。満席の場合は入場をお断りする場合がございます)

難民支援のため、当日会場に着なくなった服を回収するユニクロリサイクルBOXを設置します。回収した服はアフリカ・アジア等の難民・避難民に寄贈されます。おもにユニクロ・ジーユーで販売した商品を対象としておりますが、他社ブランドの服をお持ちいただいた場合もお預かりします。良い状態でお届けするため、お洗濯のうえお持ち下さい。

